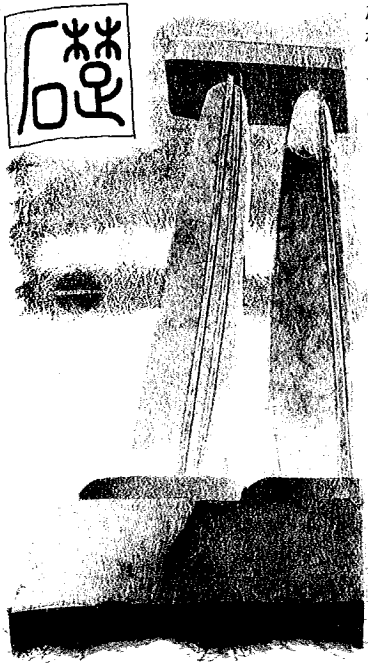


# 礎

いしすえ  
ソ

18画  
石 礎 礎 礎 礎 礎

**なりたち** 石と礎(そ) (木の名。後に国の名にも用いられる)との形声字だが、林と足(そ)と石との会意とも考えられる。林立する柱の足もとに据えられる「いしすえ」を表したものである。足は足。



# 礎

いみじゆく

▼いしすえ (家屋の柱の下に置く土台石)。土台。  
礎石：①土台石。②物事の基礎。また、それを築く人。

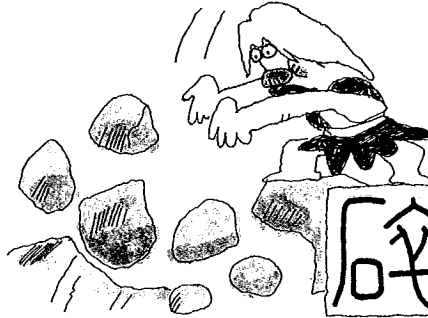
**用例** 民族独立の礎石となる。基礎：①土台。②物事を成立させるおおもと。それがなると成り立たないという、非常に重要な物事。  
礎材：土台に使う石や材木。  
定礎：土台石を据えること。その建物の工事を始めること。建物の工事の始め。

# 砕

おん サイ  
くだく・くだける

9画  
石 砕 砕 砕 砕

**なりたち** 旧字体は碎。人の死を意味する卒と石との会意形声字。石が死ぬという意味で、石がぐくだけることを表したものである。くだく、やぶれること。



いみじゆく

▼くだく。  
砕石：石を砕くこと。また、砕かれた石のこと。石の破片。

砕身：身を砕くという意味で力の限り働くこと。  
玉砕：玉の如く砕けるという意味で、全力を尽くして事に当たり、潔く死ぬこと。また、潔く敗れること。  
撃砕：打ち砕くこと。  
破砕：破り砕くこと。また、破れ砕けること。

粉砕：①粉のように細かく砕くこと。粉々に砕くこと。②相手を完全に負かすこと。  
**用例** 敵を粉砕する。  
よみかた 砕氷

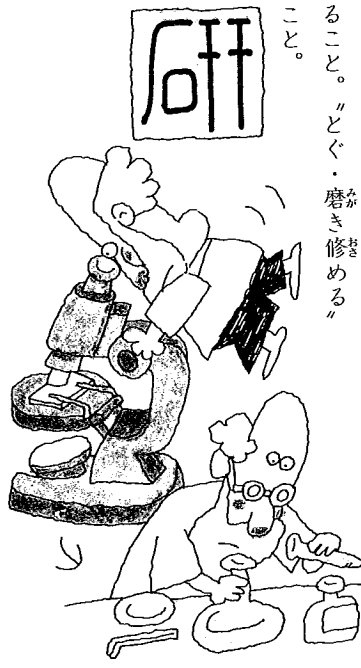


# 研

ケン  
とぐ

9画  
石 研 研 研 研

**なりたち** 旧字体は研。二本の竿(研) (干が本字) が平らに並べられた形の研(研)と、石との会意形声字。石を磨いて平らにすることを表した字。磨いて石の表面をすべすべにすること。とぐ・磨き修めること。



いみじゆく

▼とぐ。磨き修める。  
研磨：①研いだり磨いたりすること。②学問や技術などを研究して深めること。  
研究：深く調べて、まだよく分らない物事を明らかにすること。物事の道理や本質をつきとめること。

**よみかた** 研削

# 礁

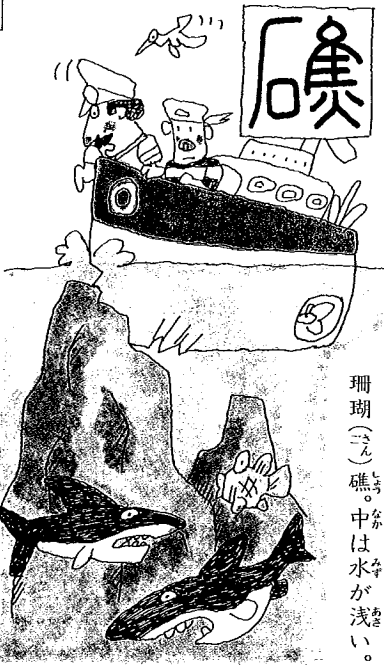
おん ショウ  
ウ

17画  
石 礁 礁 礁 礁

**なりたち** 黒く焦げる意味の焦と石との会意形声字。黒く焼け焦げた石のように見える海中水面下に見え隠れする岩を表した字。航行する船がこれに触れて難破することがある。隠れ岩・暗礁。

いみじゆく

▼隠れ岩 (海面下に隠れている岩)。  
暗礁：隠れ岩。**用例** 暗礁に乗り上げる。(船が隠れ岩に乗り上げる) だが、物事が思いがけない事件に出会い、行きづまる意味に使う。  
座礁：船が暗礁に乗り上げること。座った状態になる意味。  
岩礁：隠れ岩。暗礁。  
環礁：海面上に円い環(ち)の形をして見え隠れしている岩。珊瑚(さんご)礁。中は水が浅い。



# 砕